

つどい News

2012年11月8日

川口先生からのコメント：最近の私の講演では、「この1年は、原点に立ち返って、自分の保育園で、自分の地域で、どんな保育をしたいのか、どんな地域を作っていきたいのか、をみんなで議論していくことが大事だと思います。この7月までは、永田町の運動。しかし、この1年は、足下の運動。そこをしっかりとやり抜いて、言葉を作っていくことが、新システム実施を食い止め、法を撤廃につながる力になります。夢を語る、という前向きな思いを持って、語り合っていきましょう」ということを言っています。この7月までは、糸が切れるくらいの緊張感を持ってやり抜いてきたと思いますが、大変な大きい山場で、時間も限られていたので、危機感を高めるだけ高める運動で良かったと思います。しかし、その切迫感だけでは運動は続きませんし、みんなが疲れてしまいます。保育の夢を語りながら、自分たちが目指すものをしっかりものにし、そこから改めて新システムを見たときに、「やっぱり新システムは間違っているよね、もう一度、声を挙げて、次こそ、新システムを葬り去ろう」というところを一人一人の胸に落としていくことが大事だと思います。

私の話の着地点は最近そんな感じです。(2012年11月8日)

川口倉さんの紹介

ブログ・ツイッターから抜粋
弁護士/子ども子育て新システムには反対/拙著「子どもと保育が消えてゆく」/無罪判決3件/イラク派兵違憲判決/一人一票/浦和レッズ/奥田民生の歌が好き/奥田英朗の本が好き/のんびりした性格です。2歳の娘と散歩するのが週末の楽しみ

(家族のこと)

- ・妻が今日は遅いので、子ども2人と夕食。父ちゃんスペシャルカレー。美味しかった。はずだ。
- ・ゼロ才の息子は、寝返りがさらっと出来るようになった。もうすぐ3才の娘は、都合が悪くなると、さらっと父を売って母に寝返えるようになった。

・もうすぐ3歳の娘が「ごちそうさま」。父(僕)が食器を洗いながら、「うん」と言うと、「うん、じゃわからないよー」と娘。「よく食べたね」とか、ちゃんと返してあげないといけなかったと反省。

・安曇野ちひろ美術館に妻と子ども2人連れて。何回来ても素晴らしい。駐車場いっぱいでしたが、中はそれほど混んでいる感じでもなかった。

(思い)

・2030年。我が子は20才と18才。この子らに、少しでも人間らしい社会を手渡してやりたい。

・保育園での講演が続いていますが、その日は子どもの保育園へのお迎えが出来なくなるので、あまり講演を入れられません。

・北星余市の先生が、「親たちの卒業文集」を送ってくださった。お父さんお母さんの、苦悩と、子どもさんへの愛情と、これからの期待と不安とがたくさんつづられていて、思わず涙がでそうになりました。

・昨日保育園の保育士さん2人が家庭訪問に来てくれました。各家庭と、人と人、としてしっかりつながってくれている保育園に感謝。

(自分のこと)

・我車のオーディオ。アンジェラ・アキの後に綾小路きみまろに。妻に怒られるかな。

・今日はひとりハッピーバースデーでしたが、自分への自分からの(妻からのではない、っていうか、妻からのではない)プレゼントとして、小説を楽しむ。何気なく買った有川浩の「レインツリーの国」。誕生日に読めて良かった。

・妻子が帰省中。で今日は僕の誕生日。いま、一人喫茶店で、イチゴショートケーキ頼んで、「ひとりハッピーバースデー」。

☆ 著書「子どもと保育が消えていく」は、保育センターで取扱中。630円

☆ 次回の「実行委員会は、11月19日(月)19:00から保育センター事務所です。たくさんの方のご参加をおまちします。

☆ 2014年8月2日~4日 福岡市で全国保育団体合同研究集会を開催します。

福岡県子育て保育のつどい 実行委員会

福岡県保育センター

〒810-0041 福岡市中央区大名1-10-25 第二上村ビル506

Tel:092-761-5234 Fax:092-781-1995